

知っておきたい!

障がいに関するマーク

国際シンボルマーク



障がいのある人が利用しやすい施設であることを示す世界共通マークです。駐車場などで見かけた場合には、障がい者が利用できるように配慮をお願いします。

ほじょ犬マーク



ほじょ犬とは、盲導犬、介助犬、聴導犬のことをいいます。民間施設などでもほじょ犬が同伴できるようになったことを啓発するマークで、施設の入口などに表示されています。

オストメイトマーク



人工肛門、人工膀胱を造設している人(オストメイト)のための設備があることを示すマークです。このマークをトイレで見かけた場合は、対象者が利用できるように配慮をお願いします。

身体障害者標識



身体が不自由なため、条件付きで運転免許が認められている人が、自動車につけるマークです。

ヘルプマーク



外見から分からなくても、援助や配慮を必要としている人が、周囲にそのことを知らせるマークです。困っていることを見かけたら声をかけるなど、思いやりのある行動をしましょう。

盲人のための国際シンボルマーク



視覚障がいのある人の安全やバリアフリーに考慮した、建物、設備、機器であることを示す世界共通のマークです。このマークを見かけたら、対象者が利用できるように配慮をお願いします。

ハート・プラスマーク



身体内部に障がいがあることを示すマークです。このマークを見かけたら、近くでの携帯電話の使用を控えるなどの配慮をお願いします。

聴覚障害者標識



聴覚障がいがあるため、条件付きで運転免許が認められている人が、自動車につけるマークです。



音更町 保健福祉部福祉課障がい福祉係

音更町元町2番地 役場庁舎1階

電話 (0155)42-2111 内線512

FAX (0155)42-5160

音更町 障がい者基幹相談支援センター

音更町元町2番地 役場庁舎1階 福祉課内

電話 (0155)42-2111 内線528

FAX (0155)42-5160

みんなであつくるう!

障がいの有無にかかわらず 当たり前前に生活できるまち



共に生きる 豊かな社会をみざす 「障害者差別解消法」

すべての人が障がいのあるなしによって分けへだてられることなく、お互いに個性や人格を尊重しあいながら共に生きる社会を実現していく。そのためには社会全体で障がいを理由とする差別をなくしていかなくてはなりません。障害者差別解消法は、国や市町村だけではなく会社やお店などの事業者にも、正当な理由なく障がいを理由にして差別することを禁止しています。

対象となる 「障がいのある人」 とは?

身体障がい、知的障がい、精神障がい(発達障がい)および脳機能障がいを含む)そのほか心身機能障がい(難病等に起因する障がいを含む)があり、障がいや社会の中にある障壁(バリア)によって日常生活や社会活動が困難になっているすべての人です。障がい者手帳を持っていない人も含まれます。

音更町

障がい（しょうがい）を理由（りゆう）とする差別（さべつ）をなくし 合理的（ごうりてき）配慮（はいりよ）の提供（ていきょう）をしましょう

合理的（ごうりてき）配慮（はいりよ）とは

障がいのある人（ひと）から差別（さべつ）解消（かいしょう）の申出（もうしで）があったときに、負担（ふたん）が重（おも）すぎない範囲（はんい）で対応（たいおう）することです。障がいのある人（ひと）とよく話し合（はな）い、できる範囲（はんい）で取り組（と）みましょ。う。

※令和6年4月（れいわねんがつ）から事業者（じぎょうしゃ）による合理的（ごうりてき）配慮（はいりよ）の提供（ていきょう）が義務（ぎむ）化（か）されています。事業者（じぎょうしゃ）には、営利（えいり）・非営利（ひえいり）・個人（こじん）・法人（ほうじん）を問（と）わず、ボランティア組（そし）織（し）なども含（ふ）まれます。



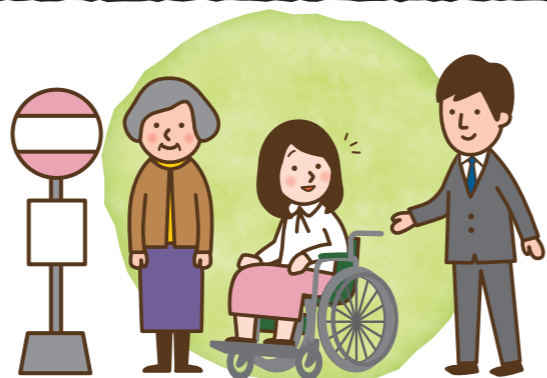
飲食店（いんしょくてん）での注文（ちゆうもん）で

視覚障がい（しかくしょうがい）がある人（ひと）に、メニュー（メニュー）の内容（ないよう）をスタッフ（スタッフ）が読み上（よ）げなが（ら）説明（せつめい）する。



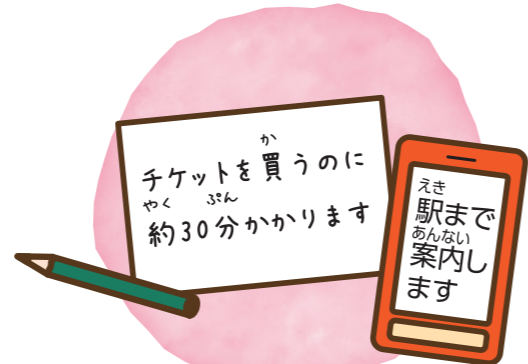
交通機（こうつうき）関（かん）で

車いす（くるま）利用（りよう）者（しゃ）が電車（でんしゃ）やバス（バス）など（など）に乗（じようこう）降（こう）する（する）とき（とき）に手（て）助（たす）け（け）を（を）する（する）。



書類（しょるい）など（など）で

障がい（しょうがい）の特性（とくせい）に配（はい）慮（りよ）し、文書（ぶんしょ）の文字（もじ）を大（おお）きくし（し）たり、ふり仮（が）名（な）をつ（つ）ける（ける）。



わたしたち一人（ひとり）ひとりにできること

わたしたちが障がい（しょうがい）のある人（ひと）と接（せつ）するとき（とき）、どんな気（き）づき（づき）や心（こころ）づか（づか）いが役（やく）に立（た）つ（つ）のか（か）、以（い）下（げ）の例（れい）を参（さん）考（こう）に考（こう）えて行（こう）動（どう）しましょ。う。

まちのなかで

困（こま）っている人（ひと）を見（み）かけたら、こち（こ）ら（ら）か（か）ら積（せつ）極（ごく）的（てき）に声（こゑ）を（を）か（か）けて協（きょう）力（りき）を申（ま）し出（で）る（る）。



スーパーで

車いす（くるま）の利（り）用（よう）者（しゃ）など（など）、高（たか）い（い）と（と）ころ（ころ）に手（て）が届（とど）き（き）に（に）く（く）い（い）人（ひと）の（の）た（た）め（め）に、高（たか）い（い）と（と）ころ（ころ）に陳（ちん）列（れつ）さ（さ）れ（れ）て（て）い（い）る（る）商（しょう）品（ひん）を（を）代（た）わ（わ）り（り）に取（と）っ（つ）て（て）渡（わた）す（す）。



電車（でんしゃ）やバス（バス）など（など）で

席（せき）を（を）必（ひつ）要（よう）と（と）して（して）い（い）る（る）人（ひと）が（が）い（い）たら（ら）、優（ゆう）先（せん）席（せき）で（で）な（な）く（く）も（も）進（すす）ん（ん）で（で）席（せき）を（を）ゆ（ゆ）ず（ず）る（る）。



階（かい）段（だん）など（など）で

車いす（くるま）の利（り）用（よう）者（しゃ）が階（かい）段（だん）な（な）ど（ど）で（で）困（こま）っ（つ）て（て）い（い）る（る）と（と）き（き）は、複（くわ）数（すう）の（の）人（ひと）で（で）協（きょう）力（りき）し（し）て（て）サ（サ）ポ（ポ）ー（ー）ト（ト）す（す）る（る）。



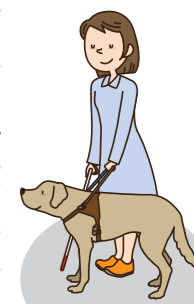
歩（ほ）道（どう）で

視（し）覚（かく）障（しょう）がい（がい）の（の）あ（あ）る（る）人（ひと）を（を）誘（ゆう）導（どう）す（す）る（る）点（てん）字（じ）ブ（ブ）ロ（ロ）ッ（ッ）ク（ク）の（の）上（う）に（に）、自（じ）転（てん）車（しゃ）な（な）ど（ど）を（を）駐（ちゅう）輪（りん）し（し）ない（ない）。



補（ほ）助（じょ）犬（けん）について

身（しん）体（たい）障（しょう）がい（がい）者（しゃ）補（ほ）助（じょ）犬（けん）（（盲（もう）導（どう）犬（けん）な（な）ど（ど））の（の）役（やく）割（わり）を（を）理（り）解（かい）し（し）て（て）、補（ほ）助（じょ）犬（けん）の（の）邪（じゃ）魔（ま）に（に）な（な）る（る）よ（よ）う（う）な（な）こ（こ）と（と）は（は）し（し）な（な）い（い）。



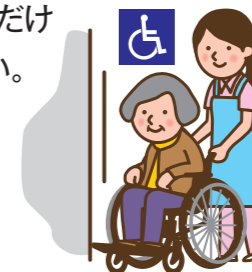
自（じ）転（てん）車（しゃ）など（など）で

自（じ）転（てん）車（しゃ）の（の）ベル（ベル）な（な）ど（ど）に（に）気（き）づ（づ）か（か）な（な）い（い）人（ひと）が（が）い（い）たら（ら）、聴（ちやう）覚（かく）障（しょう）がい（がい）な（な）ど（ど）の（の）理（り）由（ゆう）を（を）考（こう）えて（て）み（み）る（る）。



デ（デ）パ（パ）ー（ー）ト（ト）な（な）ど（ど）で

デ（デ）パ（パ）ー（ー）ト（ト）な（な）ど（ど）の（の）車（くるま）い（い）す（す）・ベ（べ）ー（ー）カ（か）ー（ー）優（ゆう）先（せん）の（の）エ（エ）レ（レ）ー（ー）バ（バ）ー（ー）は（は）、で（で）き（き）る（る）だ（だ）け（け）利（り）用（よう）し（し）な（な）い（い）。



優（ゆう）遇（ぐう）措（そ）置（ち）について

障（しょう）がい（がい）の（の）あ（あ）る（る）人（ひと）が（が）優（ゆう）遇（ぐう）さ（さ）れる（る）の（の）は（は）、平（へい）等（とう）に（に）す（す）る（る）た（た）め（め）に（に）必（ひつ）要（よう）な（な）配（はい）慮（りよ）と（と）して（して）理（り）解（かい）を（を）示（し）す（す）。

